



わたなべ ともひろ 議員
渡邊 智大

暑い時は無理せず公共施設へ



問

廃品回収業者とのトラブル時の対応は

町長

違法行為の場合は警察へ通報を

在留外国人の
ごみ分別や就学対応

問 人口が減少するなか、在留外国人の増加が進んでいる。在留外国人のごみ分別への対応の現状は。

町長 転入時に個別の説明を行っており、定着が難しい場合は現地に出自き根気強く指導している。



問 分別トラブルを未然に防ぐためにごみ収集カレンダーの多言語対応やイラストを併記する考えは。

町長 カレンダーの多言語表記の要望は聞いていない。イラストの併記はスペースも限られているが今後検討する。

問 在留外国人の就学の現状は。

また臨時講師の配置などに国や道からの支援はあるか。

町長 昨年10月に外国籍の家族の転入があり、現在町内の小学校に就学している。

講師の加配は4人以上の場合にのみ措置されるので、町単独で講師を配置している。国や道に今後、支援を要請する。

廃品回収などの

トラブル

問 実践会地区を中心に廃品回収業者や中古車輸出業者とのトラブルが発生しているが、対応方法とその周知は。

町長 外国人が廃品などの買取りのため住宅を訪問することがあり、不安を感じている町民がいることは認識している。違法行為があった場合は警察への通報が適切である。

特定の団体の活動への対応について周知することは営業妨害となることもあるので、慎重に検討を進める。

問

プレコンセプションケアの認知度向上は

町長

青年講座や健康講座で検討する

プレコンの周知

問 こども家庭庁ではプレコンセプションケアの認知度向上のために今後5年で「プレコンサポーター」を5万人養成するとしている。

本町でもプレコンセプションケアに関する講座を実施する考えは。

町長 健康づくりをテーマに実施している青年講座や健康月間での健康講座でプレコンセプションケアの周知を合わせて行う検討をする。

ブライダルチェックへの助成

問 先進地域ではブライダルチェックへの助成を行なっているが本町での考えは。

町長 ブライダルチェックの助成は医療機関の実施体制などの課題がある。

また町民健診や子宮がん検診では、オペレーションで卵巣のエコー検査などに取り組んでいる。

一〇メモ
プレコンセプションケア

妊娠計画の有無や性別を問わず、性や妊娠などの正しい知識をつけて健康管理を行うこと。



渡邊議員の一般質問を視聴できます